

## 経営継承に向けた水稲＋白ネギ栽培における

### 農業経営の安定化と白ネギ栽培基礎技術の習得

対象者 甲賀市甲賀町 K氏

#### 【普及活動のねらい】

K氏は、平成31年3月に農業大学校養成科を修了され、甲賀町で父親の水稲経営に参画し、地域の気候や土壌および気象条件に即した水稲栽培に取り組まれています。

今後、水稲を継承した後、経営の安定を図るために新たな栽培品目について検討され、水稲と労働競合がない他の重量野菜より売上げが見込める品目として白ネギに着目されました。令和元年の試作を経て、令和2年度から本格的に栽培に取り組まれることから、経営継承後の水稲＋白ネギ栽培による農業経営の安定化に向けて白ネギの栽培技術の習得を支援しました。

#### 【普及活動の内容】

現地巡回指導により育苗期には、6月上旬の定植に向けて水管理や病害虫の対策など苗質の確保について指導しました。合わせて適期定植ができるようほ場の準備を促しました。

7～8月には中耕・除草について9月以降は追肥・土寄せを中心に生育に応じた作業の実施と軟腐・白絹・さび病の除防指導を行うとともに収穫時期には、出荷規格を踏まえた適期収穫の指導など栽培技術の習得の支援をしました。

また、労働日誌を記帳し白ネギ栽培を導入したことによって水稲と作業競合が起こっていないかチェックを行いました。



白ネギの育苗の様子

#### 【普及活動の成果】

白ネギは順調に生育し12月中旬から収穫が始まりました。収量は、10aあたり1,300kgの目標に対し、1,616kgが収穫され、売上げは目標の124%に達しました。

白ネギ栽培は、水稲作業と競合しない作業体系で栽培が可能であり、新たな収入の確保を図る経営品目として有望であることが確認できたことから白ネギ栽培の拡大に意欲を示されています。

今後も、今作の反省点を踏まえ、安定した経営に向け支援を継続します。



間もなく収穫の白ネギ